

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成28年7月1日

施設名	室戸体育館	所管課名	土木部公園下水道課
-----	-------	------	-----------

1 施設の概要

指定管理者名	室戸市	指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
施設所在地	高知県室戸市室戸岬町6811番地		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の運営に関する業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設等の利用に関する業務 (2) 施設等の利用料金の徴収 2. 施設等の維持管理に関する業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設等保守管理業務 (2) 清掃業務 (3) 植栽管理業務 (4) 警備業務 3. 体育館全般に係るその他の業務 <ol style="list-style-type: none"> (1) 体育館の利用案内 (2) 団体、ボランティア等との協力、連携 (3) 体育館に関する情報の提供 (4) 体育館に関する要望及び苦情の処理 (5) 緊急対応体制の確立 4. 物品の使用等 		
施設内容	<p>【建物面積】 2,595.6㎡</p> <p>【アリーナ】 面積：36m×32m(バスケットボール1面、バレーボール2面)</p> <p>施設・設備：会議室(450円/時)、照明設備(半面460円/時)、放送設備(240円/時)、冷暖房設備(100円/時)、持込み電気機器(1口250円/時)、シャワー(1回100円)、テニス1式(640円/日)、バドミントン1式(450円/日)、卓球1式(210円/日)、運動靴1足(100円/日)</p> <p>開館時間：9:00～21:00 休館日：12月29日～1月3日 料金(半面)：高校生以下1,290円(9:00～17:00)、その他の者2,590円(9:00～17:00)</p>		
職員体制	室戸市生涯学習課に担当職員(兼務)を1名配置し、体育館の事務管理は、日中(8:30～17:30)は臨時職員2名が対応し、夜間(17:30～21:00)は室戸市シルバー人材センターに業務委託。		

2 収支の状況

単位：円

		26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
収入	県支出金	6,099,000	6,455,000	6,455,000
	使用料・手数料	562,650	549,680	304,000
	その他	147,082	140,792	801,000
	収入計 (a)	6,808,732	7,145,472	7,560,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	3,543,335	3,736,379	4,750,000
	人件費	3,391,648	3,414,439	2,810,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	6,934,983	7,150,818	7,560,000
収支差額 (a) - (b)		△ 126,251	△ 5,346	0

3 利用状況

	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	4,153	5,117	5,200
②利用者意見等の反映	○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・意見箱を設置し広く意見を聴取。27年度は、児童達から「(体育館が)広くて気持ち良かった」という意見があった。		
	○利用者意見等を踏まえた対策		
	○その他		
③その他特記事項			

4 平成27年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸体育館は室戸市が管理している室戸中央公園に位置しており、施設利用受付や植栽等を室戸中央公園と一体的に管理することで、効率的な運営を図った。 ・日常の植栽・除草作業については、職員が業務の空き時間に実施することでコストを縮減している。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・AEDを設置している。28年度には、職員2名に救命救急講習を受講させ、AEDの取扱を習得させる予定である。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・27年度は、指定管理者の取り組みとして、地元NPOと連携した体育館利用促進事業を実施し、利用者数は大幅に増加した。(＋964人) ・県や市が主催する大会等の会場について、勤労者及び県立両体育館に分散するよう室戸市が調整を行った結果、県立体育館の利用向上にもつながった。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入は、26年度と比較し若干減少したが、付属設備の利用減によるものであり、アリーナ利用金額は微増となった。 ・概ね、収支は均衡している。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・27年度から体育館利用促進事業を実施し、地元NPOと連携してスポーツ交流イベントを開催するなど、新規利用者の獲得に積極的に取り組んだ。その結果、利用者が増加し、利用率が向上したことは評価に値する。
	B

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの